

# 高松市塩江道の駅エリア整備の基本設計等について



令和4年3月 創造都市推進局 病院局

# 1 高松市塩江道の駅エリア整備の基本設計等について

## 【基本設計コンセプト】

「地域住民のためのいこい・健康づくりの場」と「高松の奥座敷の観光ゲートウェイ」の両輪により、  
地域内外の交流や賑わいを創出し「オンリーワンの価値を持つ道の駅」を実現

### 全体鳥瞰図



### 医療施設とエントランス



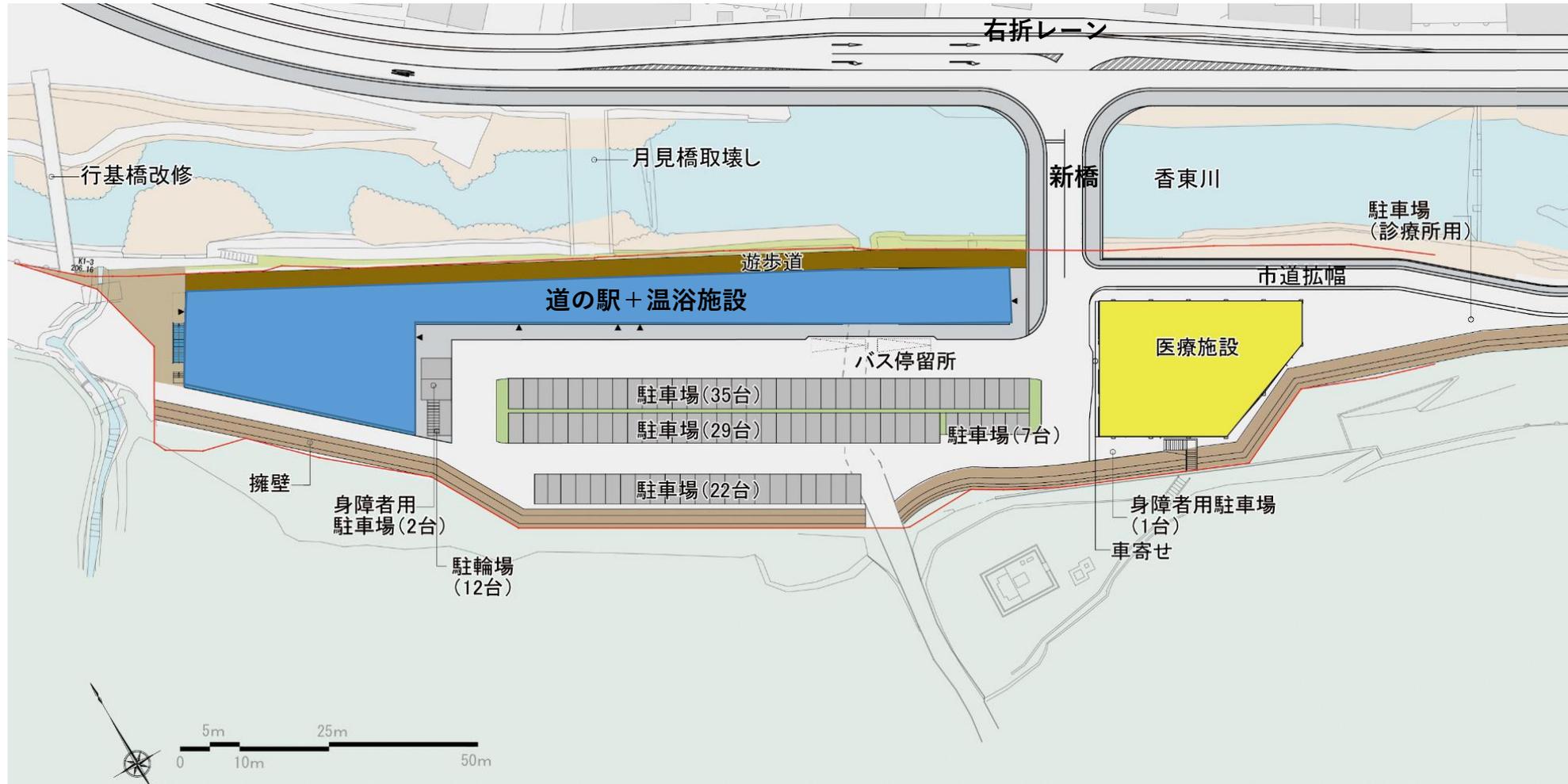
### 川沿いの遊歩道



## 2 施設配置計画

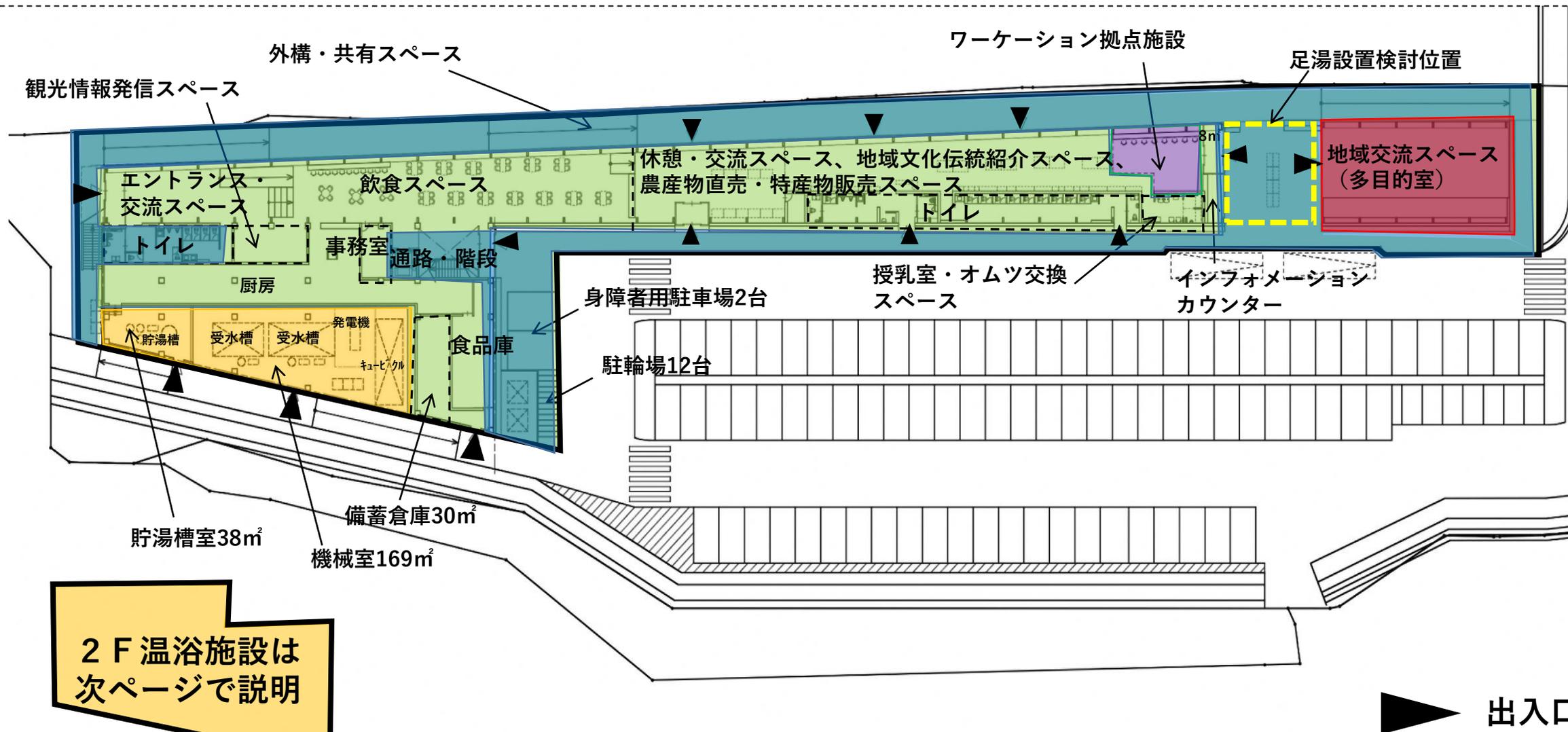
### 【施設配置計画の考え方】

- 安全性向上のため、新橋・右折レーンの位置を上流（直線区間の中央）に配置
- 道の駅を川側に配置し、国道からの視認性と回遊性を確保
- 施設入口前にバス停を設けるとともに、川沿いの遊歩道には屋根を設置し、利便性の高い空間を確保



### 3 道の駅内のレイアウト

- ・ 下図の間取りは、基本計画に基づき、地元関係者や関係機関と意見交換を重ねながら、取りまとめたものである。
- ・ 施設内へは、どこからでも自由に入出入り可能なバリアフリー動線を確保。
- ・ 来訪需要に柔軟に対応していくため、間仕切り等は設置しない。



2F 温浴施設は  
次ページで説明

# 4 温浴施設 ~オンリーワンの価値を持つ温浴施設へ~

## 源泉かけ流しの内湯

利用源泉の泉質が、療養泉として認められ、国民保養温泉地（県内唯一・2箇所/四国）に指定されている。  
 この源泉をかけ流すことで、オンリーワンの価値を創出する。

## 休憩室

香東川を眺められる休憩室



温度の異なる3種類のサウナ

背後の山とつながる外気浴

景色を眺めながら入浴できる家族風呂

森林を借景とした露天風呂

凡例 ● サウナ

# 5 施設概要(医療施設①)

## 設計のポイント

### 患者本位の施設整備

- ・患者の動線を1階に集約した配置計画
- ・患者の移動距離が短くなるよう中央に待合ホールを配置した施設レイアウト

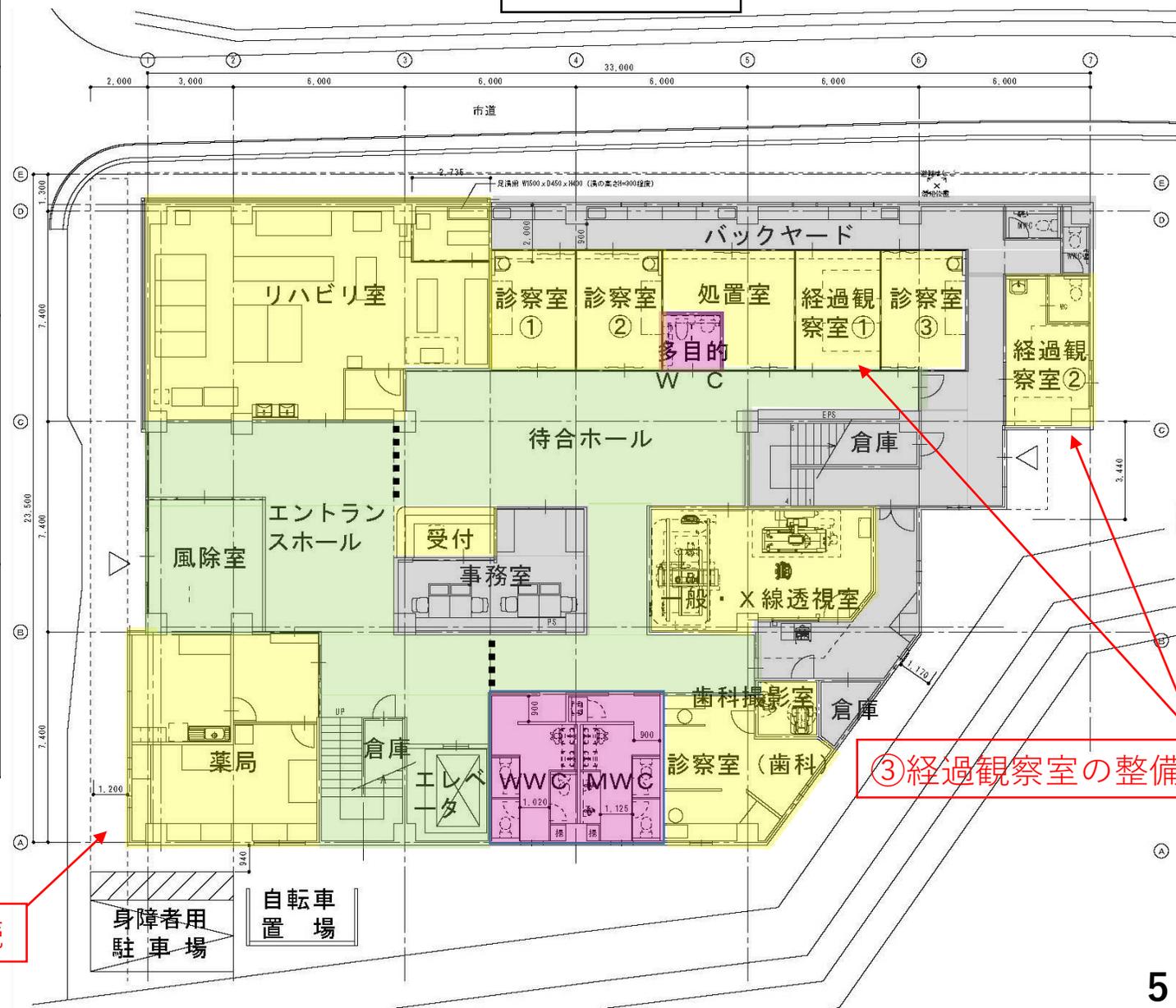
### 安全で災害に強い施設整備

- ・災害時に傷病者等の搬送順位の決定(トリアージ)ができるスペースを確保
- ・インフルエンザ等の感染症に対応する部屋を整備

### スタッフにとって働きやすい施設整備

- ・バックヤードを確保し、スタッフの動線に配慮
- ・休憩室等の諸室の配置

### 1階平面図



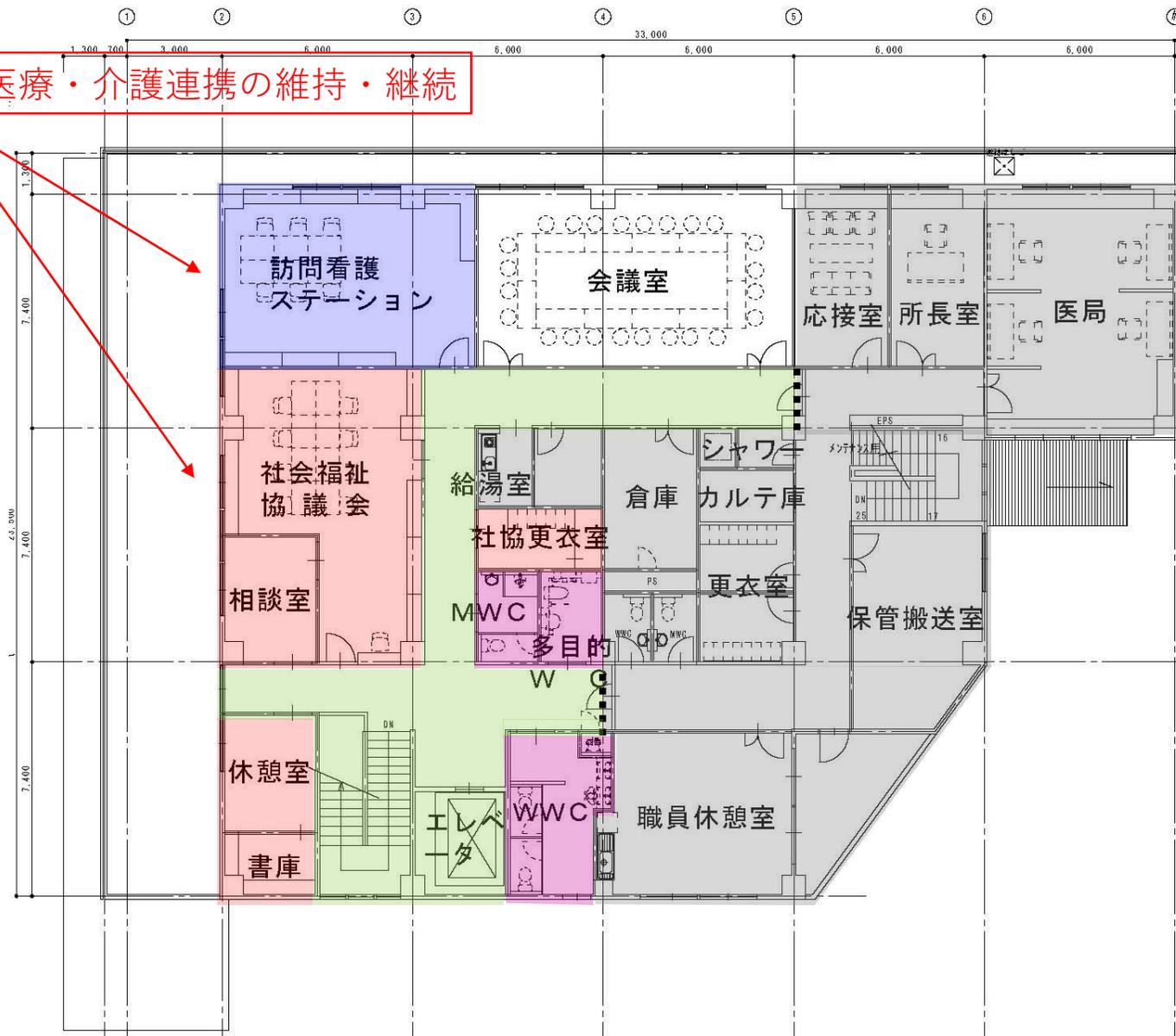
⑤院内薬局の維持・継続

③経過観察室の整備

# 6 施設概要(医療施設②)

2階平面図

④医療・介護連携の維持・継続



## 附属医療施設の無床化に伴う5つの対応策

- ① 組織再編成による安定した人材配置と運用
- ② 入院・外来受診時の搬送手段の確保
- ③ 経過観察室（仮称）の整備
- ④ 医療・介護連携の維持・継続
- ⑤ 院内薬局の維持・継続

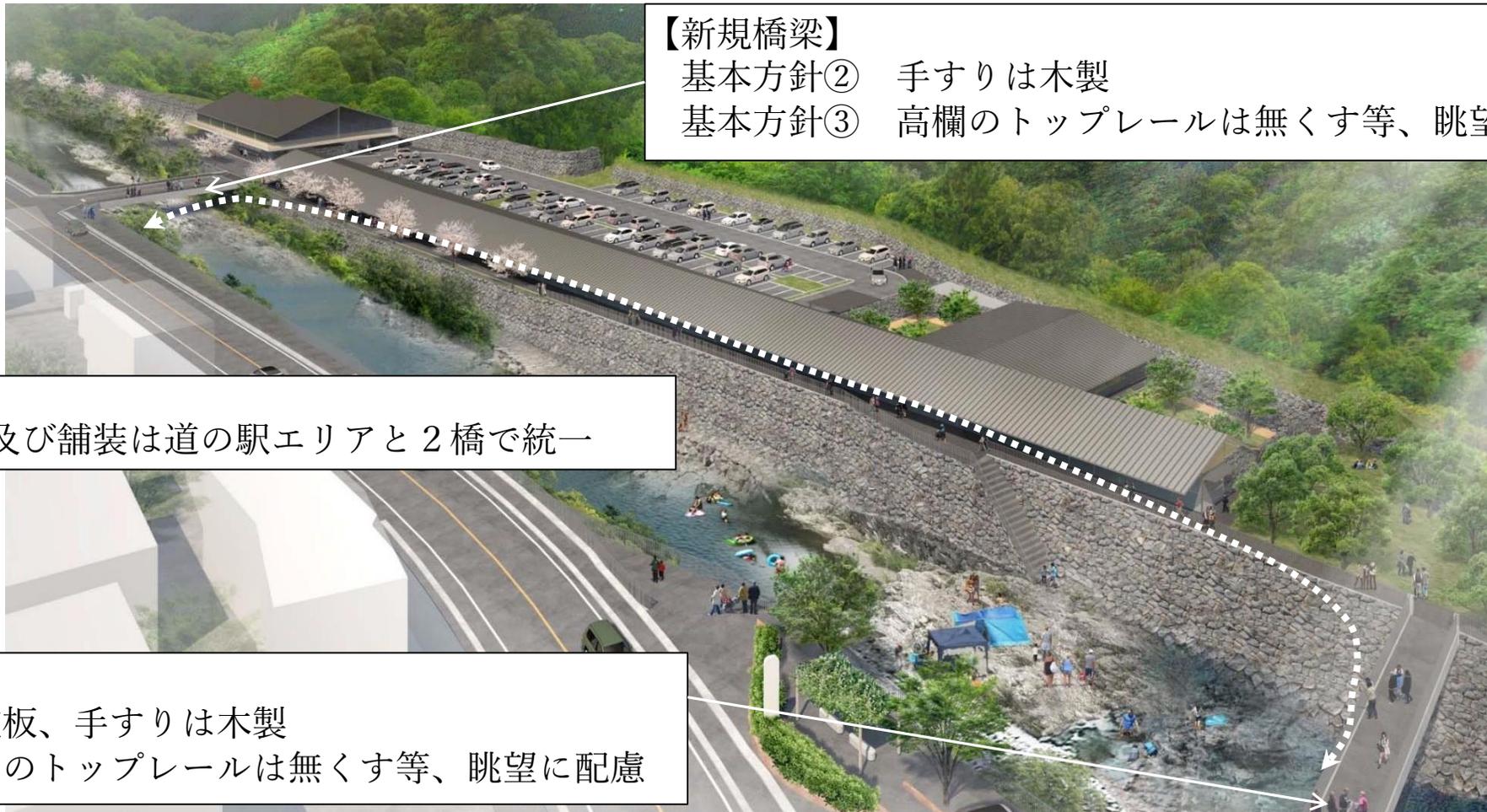
## 7 施設概要(橋梁①コンセプト)

【コンセプト】 道の駅エリアへ誘う2つの玄関口となり、ここにしかない自然や歴史を体感できる橋梁群

【基本方針】 基本方針① 道の駅エリアと連続性を確保するデザイン

基本方針② 地域の歴史やイメージと調和するデザイン

基本方針③ ここにしかない風景を眺望し体感できるデザイン



### 【新規橋梁】

基本方針② 手すりは木製

基本方針③ 高欄のトップレールは無くす等、眺望に配慮

### 【二橋共通】

基本方針① 高欄及び舗装は道の駅エリアと2橋で統一

### 【行基橋】

基本方針③ 化粧板、手すりは木製

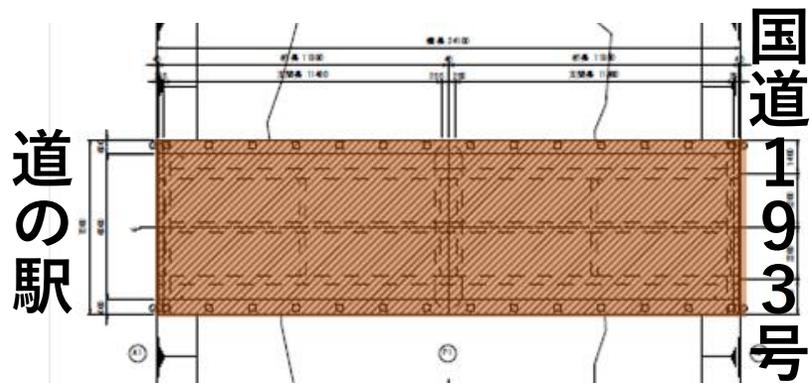
基本方針③ 高欄のトップレールは無くす等、眺望に配慮

# 8 施設概要(橋梁②設計概要)

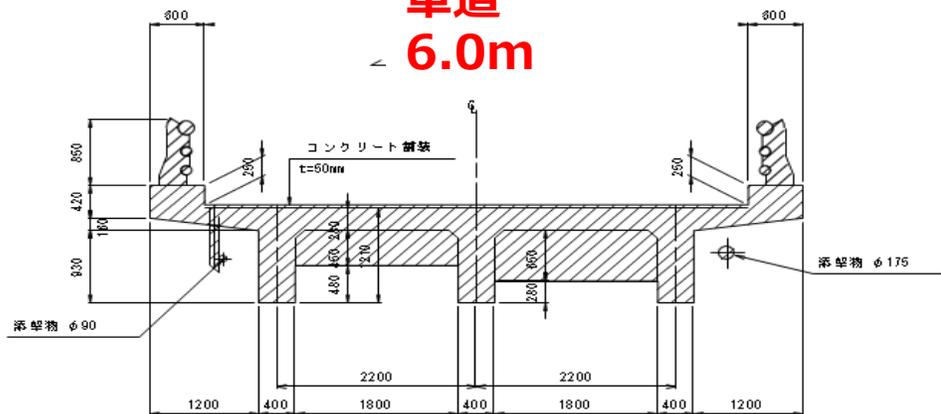
## 【新橋設計の考え方】

- 安全な出入りを可能とするバチ形状
- 国道との段差を解消するため、桁高を薄くすること。
- 中型バスが交互通行可能な車道幅員 (3.5×2m)、両側歩道 (2.5×2m) を設置。

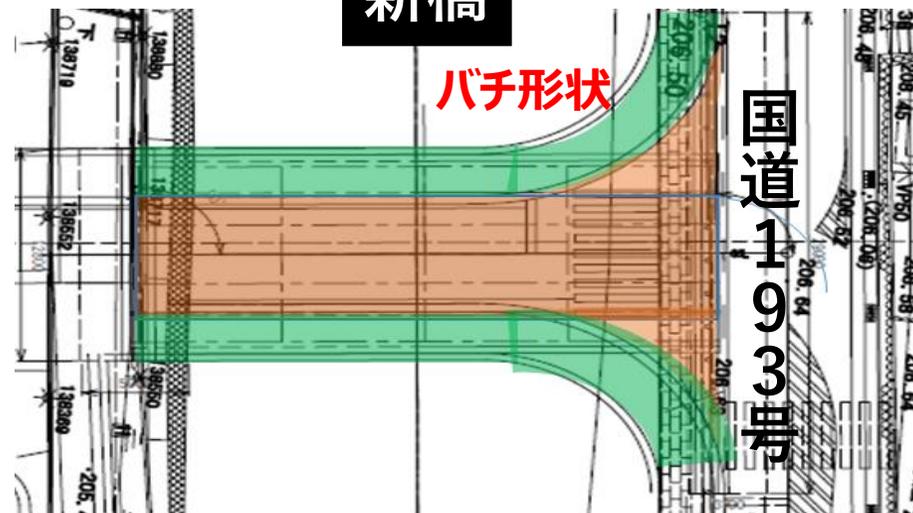
現月見橋



車道  
6.0m

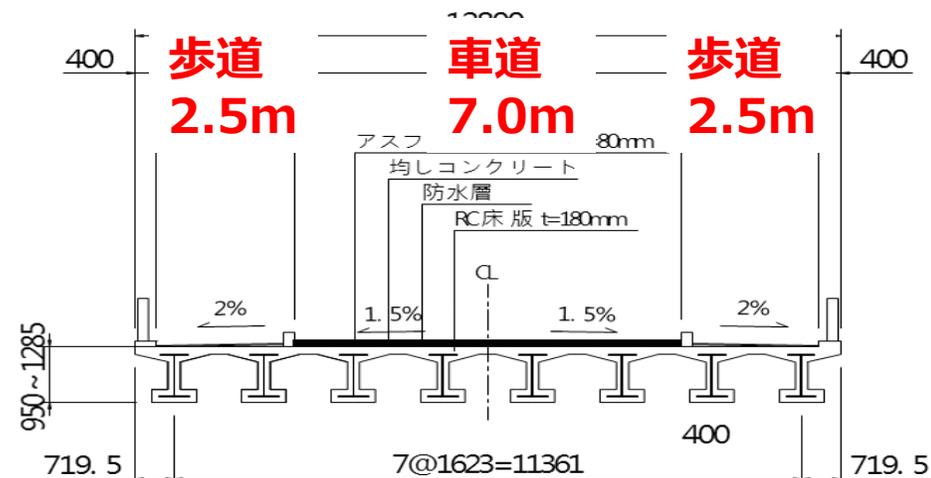


新橋



バチ形状

歩道 2.5m | 車道 7.0m | 歩道 2.5m



## 9 施設概要(橋梁③デザイン)

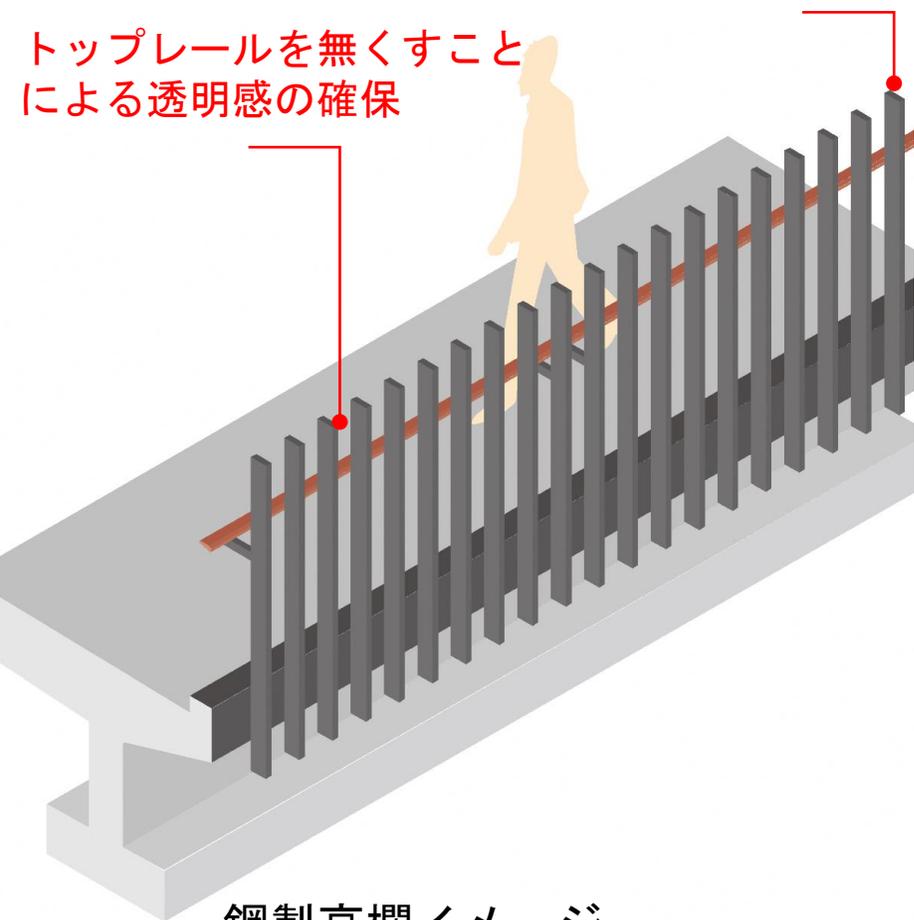
### 【新規橋梁のデザイン】

①地区の歴史や文化の継承、②香東川の魅力と水辺への回遊性の向上、③佇みたくなる空間の創出をデザインコンセプトに、車両用防護柵を設けず手ざわりの良い転落防止柵のみを設置

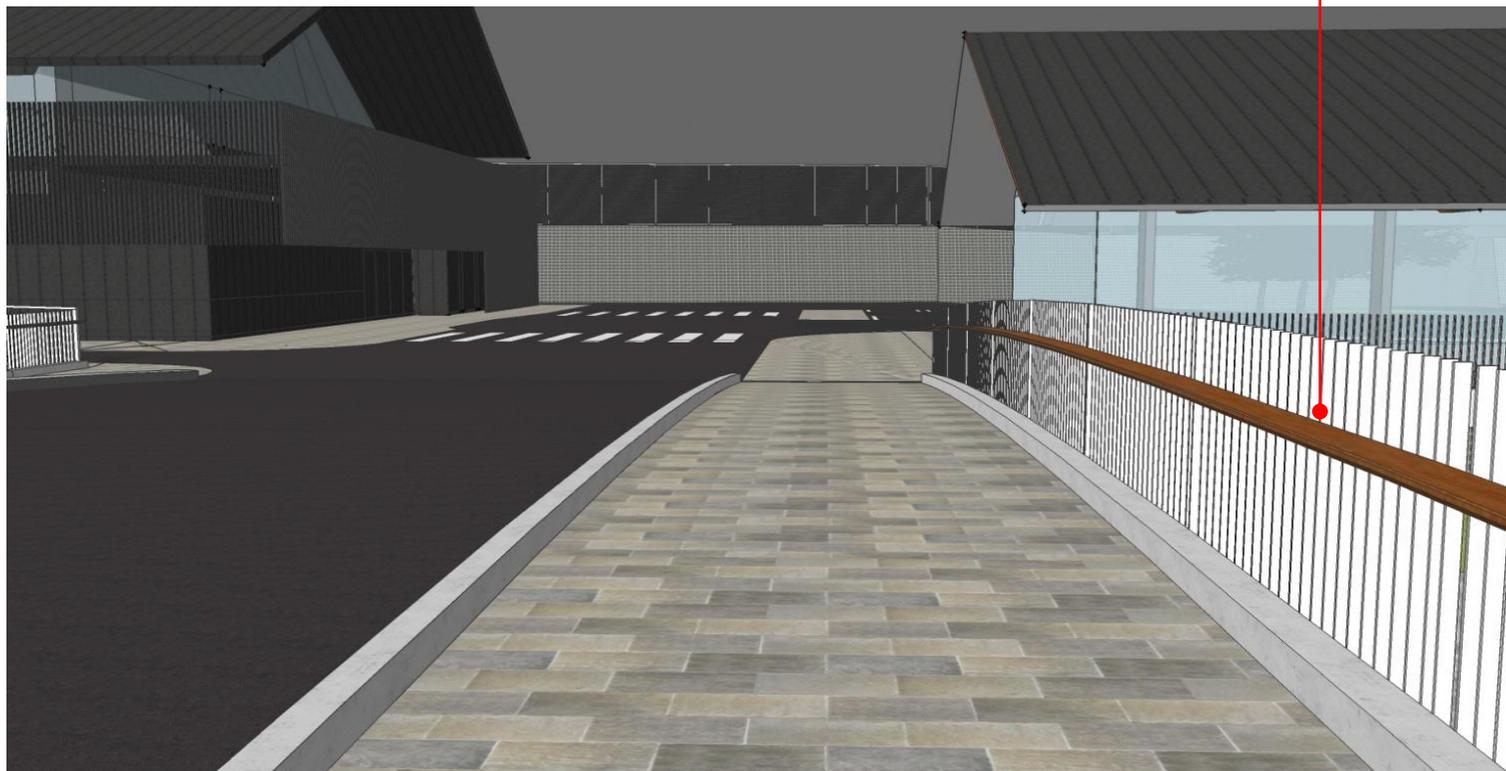
高欄は、景観性、経済性、維持管理性に優れた鋼製を採用

手摺を木材とすることによる地域性の表現

トップレールを無くすことによる透明感の確保



鋼製高欄イメージ



整備イメージ

# 10 事業スケジュール・概算事業費

・令和7年度末の完成を目指し、令和4年度から、建築実施設計や造成工事等に着手する。

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全体	基本計画公表 ★	基本設計公表 ★				完成予定 ★
建築		基本設計	実施設計		建築工事	
法面对策	調査設計	工事(予防工)		工事(防護工)		
基盤・造成		基本・実施設計	工事(1次造成)	工事(インフラ敷設)	外構等工事	
道路 ※右折レーンを含む		基本・実施設計	実施設計(駐車場)		工事(右折レーン)	舗装工事
橋梁		調査・設計	工事(下部工)	工事(下部工・上部工)		
解体		設計	工事(R3休養村センター、R4やすんば外)		工事(月見橋・行基・既存道の駅)	
用地		境界確定	道の駅 右折レーン			

■ 黒字は、実施中  
■ 赤字は、R4実施予定  
■ 青字は、R5以降実施予定

全体鳥瞰図① (下流側・高松市方面から)



全体鳥瞰図②（上流側・徳島方面から）



入口付近（新橋から施設側を望む）



# 道の駅施設（新橋から施設側を望む）



遊歩道① (道の駅施設 川側、上流側から)



## 遊歩道② (道の駅施設 川側、上流側から)



遊歩道③ (道の駅施設 川側、下流側から)











# 1 1 今までにヒアリング等でいただいた御意見と回答

## ■留意すべき事項について

- ・河川はどこまで現状のまま残されるのか。蛍が月見橋の上流側に生息するため、生存できるようにしてほしい。  
→ 今回の護岸整備は、新橋と月見橋解体に関係する範囲のみとすることになっている。
- ・あじさいロードは地域の景観上大切なものであるため守ってほしい。  
→ 新しい道の駅の遊歩道及び現道の駅解体後に整備する緑地帯に再現することとしている。
- ・やすんばの木材を再利用していただきたい。  
→ やすんば等の解体に当たり、設計を行う段階で再利用を検討したが、解体費用、工期等の観点から、再利用を断念することになった。現在は、やすんば内に設置している、木製ロッカーについて、新しい道の駅での再利用を検討している。
- ・記念樹等の移植を検討していただきたい。  
→ 移植を行うことにしている。

## ■道の駅配置計画・機能について

- ・道の駅の駐車場に大型バスが入ってこないように安全性に配慮してほしい。  
→ 大型バスについては、現道の駅を駐車場とする計画としている。
- ・道の駅の利用者が多く、病院の利用者が駐車場に駐車できないということはないのか。  
→ 道の駅来客者が多い土日は、病院が休みであり、平日は道の駅来客者が少ないため、スペースの確保は可能と考えている。
- ・地域交流スペース・多目的室はどのような部屋になるのか。  
→ どのような形でも利用可能な部屋にする予定である。
- ・地域交流スペース・多目的室を避難場所としても使えるようにできないか。  
→ 道の駅の南側は、土砂災害警戒区域に指定されていることから、避難場所としての利用を想定していないが、運営上、被災者方への対応はできるように整備を行う。

# 1 1 今までにヒアリング等でいただいた御意見と回答

## ■ 温浴施設について

- ・ 温浴施設の源泉はどこから引いてくるのか。  
→ 奥の湯源泉と湯元塩江温泉を併用して利用することとしている。
- ・ 行基の湯は狭く、新しい道の駅の温泉は使いやすいものを期待しているが、どれくらいの規模なのか。  
→ 行基の湯と同規模程度を計画しているが、利用しやすい空間を目指す。
- ・ 温浴施設のサウナのスペースはどのくらいなのか。  
→ 温度の異なるサウナを3種類設置する予定である。また、外気浴も検討している。
- ・ 夏はアブ等が建物内に入ることが想定されるため、戸を開けたままにするのは、止めてほしい。  
→ 塩江の豊かな自然を体感できる施設を目指しているので、できればオープンな空間を楽しんでいただきたい。害虫が発生する時期は閉めるといった対応は管理運営の中で検討していきたい。
- ・ 温浴施設でも飲食ができたほうが良いのではないか。  
→ ダムウェーターを設置し、フロントから食事を受け取れるようにする。

## ■ その他

- ・ 道の駅がガラス張りだが、塩江の冬は市内に比べ寒く、雪が降ることもある。結露対策はどうなっているのか。  
→ ペアガラスを採用し対応する。
- ・ サイクリング者等のために、屋根のある駐輪場があるとよい。  
→ 駐車場の左側の駐輪場・身体障がい者用駐車場は屋根付きを計画している。
- ・ 新しい道の駅の管理運営は誰が行うのか。  
→ 塩江温泉郷観光活性化基本構想では、民間企業に管理してもらうことを想定しているが、管理手法については、指定管理者制度等様々な方法があるため、今後、検討していく。

# 1 1 今までにヒアリング等でいただいた御意見と回答

## ■ 医療施設について

- ・ 観光施設と医療施設でデザインの統一性は図られているか。  
→ 手摺の形を遊歩道の柵と合わせたり、屋根の形を揃えることにより、統一性のあるデザインとした。
- ・ ガラス張りにするなら、防寒や結露対策の面から、二重ガラスとしてほしい。  
→ 観光施設との統一性を保ちながら、なるべくガラスの面積を減らした外観とした。二重ガラスの採用については、実施設計において検討する。
- ・ 風除室で通路が折れているが、ストレッチャーは通れるのか。  
→ 風除室の奥行きを4mほど確保し、ストレッチャーが支障なく通れるようにした。